

SHaiN、主要採用管理システムとの連携を加速 i-webとAPI連携 ～再現性・透明性を備えた評価AIを、採用プロセスへシームレスに～

株式会社タレントアンドアセスメント（本社：東京都港区、代表取締役：山崎俊明、以下タレントアンドアセスメント）は、同社が提供する次世代版対話型AI面接サービスSHaiNと、株式会社ヒューマネージ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：齋藤亮三、以下ヒューマネージ）が提供する採用管理システム「i-web」とのAPI連携を、10月27日より開始することをお知らせいたします。

SHaiNは、これまで主要な採用管理システムである「sonar ATS」「ワガシャ de DOMO」との連携を進めており、このたび「i-web」とのAPI連携を加えることで、利用者様のさらなる利便性向上を図ってまいります。

2026.10.27 i-web API連携開始

SHaiN、主要採用管理システムとのAPI連携を拡大

新たに「i-web」とのAPI連携を開始

～「sonar ATS」「ワガシャ de DOMO」に続き、採用管理からAI面接までシームレスに～

API連携済み

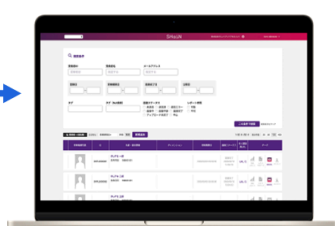
採用管理システム
sonar
ATS

中小企業向け採用支援サービス
ワガシャ de DOMO

NEW 10/27～

i-web

API連携



SHaiNの評価AIを、使い慣れた採用管理システムからそのまま利用可能に

sonar ATS・ワガシャ de DOMOに続き、今後も各種ATSとの連携を拡大します

 SHaiN

■採用管理システムとの連携拡大の背景

採用活動では、候補者情報の管理、選考案内、面接、合否判断など、多くの業務が発生します。一方で、採用選考は候補者のキャリアに大きな影響を与える重要な意思決定であることから、「どのような基準で評価しているか」「同じ回答に対して一貫した評価が行われるか」「評価結果について説明できるか」といった、評価の再現性や透明性がより重要になっています。

SHaiNは、独自の戦略採用メソッドに基づく構造化面接を採用し、候補者の回答内容を一定の評価基準に沿って分析・評価しています。

さらに、蓄積した約4万5,000件の面接データと、東京大学大学院情報理工学系研究科 山崎俊彦教授との共同研究をもとに独自の評価AIを開発。人物評価そのものを生成AIに依存するのではなく、独自の評価アルゴリズムによって評価することで、評価の一貫性や説明可能性を重視した仕組みを構築しています。

こうしたSHaiNの評価AIをよりスムーズに活用できる環境を提供するため、SHaiNはこれまでに「sonar ATS」「ワガシャ de DOMO」など大手採用管理システムとの連携を進めてきました。

今回の連携により、企業が現在利用している採用環境を大きく変更することなく、SHaiNによるAI面接を既存の採用プロセスへ組み込みやすい環境を提供します。

今後も各種ATSとの連携を拡大し、再現性・透明性を重視したSHaiNの評価AIを、より多くの企業が活用できる基盤づくりを進めてまいります。

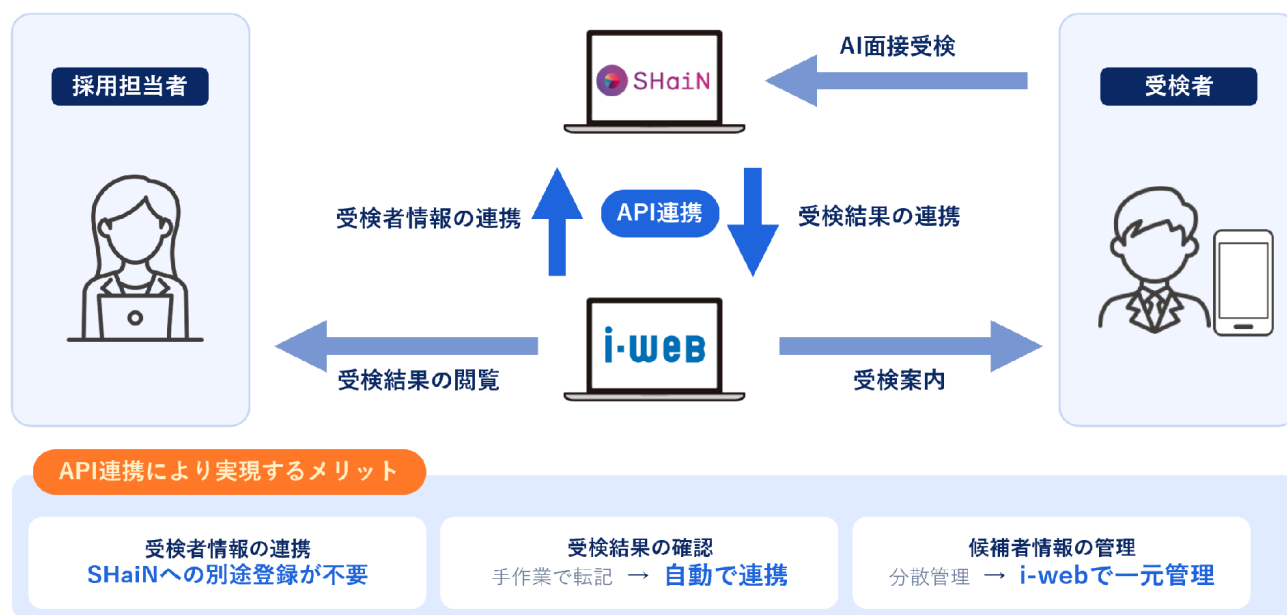
■API連携による効果

今回のAPI連携により、i-webに登録された受検者情報をSHaiNへ連携し、AI面接の実施後には受検結果をi-webへ自動連携することが可能になります。

これにより、採用担当者によるSHaiNへの受検者情報の別途登録や、面接結果の手作業による転記が不要となり、採用業務の負荷を軽減します。

また、AI面接の受検結果をi-web上で確認できるため、応募者情報や選考状況を一元的に管理でき、既存の採用フローの中でSHaiNをよりスムーズに活用いただくことが可能となります。

SHaiNとi-webの連携イメージ



■機械学習データに裏打ちされた評価AIの「再現性」と「透明性」

SHaiNでは、構造化された質問と評価基準を用いることで、面接官による評価のばらつきを抑制するとともに、同一の回答に対して一貫した評価を行う再現性を重視しています。

また、人物評価を生成AIによる推論に委ねるのではなく、独自の評価アルゴリズムを用いることで、AIによる評価プロセスがブラックボックス化することを防ぎ、評価根拠を確認できる仕組みを構築しています。

タレントアンドアセスメントは、今後もAIの利便性だけでなく、公平性、再現性、透明性、説明可能性を重視し、企業と候補者双方が安心して利用できるAI面接の社会実装を推進してまいります。

■採用管理システムi-webについて (<https://i-web-ats.humanage.co.jp/>)

1998年に業界初の採用管理システムとしてリリースされて以来、大手・有名企業を中心に、大手企業の約2社に1社にご利用いただくなど、18年連続業界シェアNo.1の導入実績を誇る採用管理システム。大手就職情報サイト「Airワーク採用管理（リクナビ/リクナビNEXT/ Indeed等）」「キャリアス就活」とのリアルタイム連動に加え、「CFN (CareerForum.Net)」「ONE CAREER」「外資就活ドットコム」「TECH OFFER」「OfferBox」「LabBase就職」等の媒体やさまざまな外部ツールと連携し、新卒・キャリア採用を“まとめて”“手間なく”“精緻に”一元管理できます。オンライン面接、Webセミナー、ペーパーレス、グループ採用、リクレーター採用、タレントプールなど、あらゆる採用を叶える多彩な機能展開と、ヒューマネージの適性検査『TG-WEB』に加え『SPI3』とも連携する圧倒的な利便性で、これまで2,800社以上の導入実績を誇ります。

■次世代版対話型AI面接サービス SHaiNとは (<https://shain-ai.jp/>)

タレントアンドアセスメントが開発した戦略採用メソッドをもとに、人間の代わりにAIが面接を実施することで、人間が行う面接で課題視されてきた評価のばらつきが改善され、合否基準の統一、先入観のない公平公正な選考を実現しており、1100社以上で導入されている国内最大手の対話型AI面接サービスです（2026年7月時点）。

受検者はスマートフォンやタブレットを利用し、24時間365日、いつでもどの場所でもAIと対話しながら面接を行うことができ、日程による選考辞退などの機会損失を減らせるようになります。また企業側は面接評価レポートなどを参考に、採用可否だけでなく、対面の面接時には候補者ごとに適した質問の投げかけや、特徴に合わせた動機付けとして活用することができます。

SHaiNの最大の特徴は、約4万件の面接データをもとに東京大学・山崎研究室との共同研究によって開発された独自の評価AIアルゴリズムを搭載することで、評価根拠を説明可能にしたことです。

2024年施行のEUにおけるAI規制法では、採用におけるAI活用を高リスクと分類し、「人間による監視体制」「ログの記録・管理」「第三者による適合性の評価」を義務付けていますが、SHaiNはそれぞれの基準を満たしており、AI規制法を遵守したサービスとなっています。

2025年12月リリースの次世代版SHaiNでは、PKSHA Technologyの保有する、高度な自然言語処理技術および機械学習モデルの搭載により、面接における傾聴機能を大幅に強化しポジティブな対話体験を実現。さらに、従来の10資質評価に加え、その他資質として多角的な評価を新たに実装し、より精緻な人物分析が可能となりました。その他資質は、日本経済団体連合会（経団連）の「新卒採用に関するアンケート調査」で重視項目として挙げられた「コミュニケーション能力」「主体性」「チャレンジ精神」「協調性」「誠実性」を含む8種類のコンピテンシーとなります。

SHaiNは、グループ企業であるPKSHA Technologyが展開する「AI Suite for HR」の役割の一つとして、AIにより総合的に人事業務の効率化と転職者や働く人々の体験向上の実現を目指しています。



■株式会社ヒューマネージ (<https://www.humanage.co.jp/>)

所在地 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニ ガーデンコート 18 階

代表者 代表取締役社長 齋藤 亮三

設立 2004年12月1日

資本金 5,000万円

事業内容 採用ソリューション事業、適性アセスメント事業、ウェルビーイングソリューション事業

■株式会社タレントアンドアセスメント (<https://www.taleasse.co.jp/>)

所在地 東京都港区虎ノ門 4-1-1 神谷町トラストタワー23F

代表者 代表取締役 山崎俊明

設立 2014年10月

資本金 5,000万円

事業内容 AI面接サービスSHaiNを主軸とした採用コンサルティング事業の展開